大豆「サチユタカ」の晩播栽培法

梅雨明け播種で安定多収を

晩播栽培のメリットは?

☆中耕培土が不要 ▶▶▶▶▶▶ 草丈が短いので倒れにくい

☆被害粒率の低下 ▶▶▶▶▶▶ 裂皮粒・しわ粒・虫害粒が減少

☆一斉成熟 ▶▶▶▶▶▶▶▶▶ 青立ち株が発生しにくい

収量を確保するためには?

Point 1　播種量は通常の2倍程度（12kg／10a）

Point 2　条間を従来の半分に狭めた密条栽培

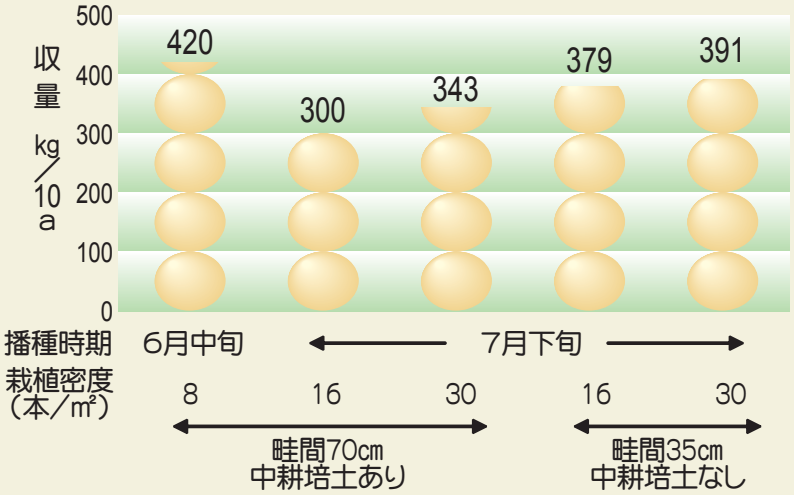
注意！ 梅雨明け後，降雨が少なく土壌が乾燥する場合には，畦間かん水により出芽を促進させる必要があります。

播種時期の異なる大豆の生育状況

（2002，農業技術センター）

播種時期・栽植密度などの違いが収量に及ぼす影響

（2002，農業技術センター）



生育量は小さくなりますが，畝間35cmの密植によって収量の確保が可能です。

© 2003 広島県立農業技術センター 土地利用研究部